

重点施策 14 文化財の保存及び積極的な活用

【施策方針】

国重要文化財に指定されている日土小学校の校舎見学会や梅之堂三尊仏の一般公開等、文化財の保存・活用に努めるとともに、ふるさと文化再興事業により伝統的行事文化の継承を図り、旧白石和太郎洋館を中核とした保内町の古いまちなみの保存、紹介を行っている。

【実施状況】

(1) 主な施策・事業

文化財の保存、継承

- ① 重要文化財日土小学校校舎見学会
- ② 梅之堂三尊仏の一般公開
- ③ 旧白石和太郎洋館管理、一般公開
- ④ 文化財説明看板設置
- ⑤ 文化財保護審議会の開催

(2) 主な施策・事業の実施状況

① 重要文化財日土小学校校舎見学会

平成 21 年度から平成 24 年度までは学校教育課所管であった日土小学校校舎見学会が平成 25 年度より生涯学習課の所管となった。平成 26 年度末までに合計 4,176 名の見学者があった。

八幡浜市役所の職員であった建築家松村正恒が設計し、中校舎と東校舎は、それぞれ昭和 31 年と昭和 33 年にかけて完成した。平成 20 年 9 月から地震補強(中・東校舎)、新增築(西校舎)を実施し、平成 21 年 6 月末で保存再生工事が完成し、日土小学校校舎は、数少ない木造校舎の耐震補強事例であると共に、文化財の改修方法を用いながらも、現代の建築基準法等に配慮した全国的に見ても稀有な校舎であることから、全国から見学の依頼が多く寄せられることとなった。

そして平成 24 年 12 月 28 日、戦後建築としては 4 番目、戦後木造建築としては初の重要文化財に指定された。

通常、学校教育の場となっている校舎は、児童への影響を考え、原則非公開としているが、関心の高さを考慮し、長期の休みを利用して日土小学校のすばらしさを、多くの方々に共感していただきたいという思いから見学会を開催している。

② 梅之堂三尊仏の一般公開

国指定の重要文化財である梅之堂三尊仏の一般公開は 5 月から 12 月の第 2 日曜日に行っている。

③ 旧白石和太郎洋館管理、一般公開

旧白石和太郎洋館については、旧保内町時代から改修を重ねてきたが、その改修も平成 18 年度に完了したため、これを毎月第 2・第 4 日曜日に一般公開並びにイ

ベントや会議に貸し出しを行い、旧保内町の繁栄、栄華の跡を今日にまで遺すものとして、希望者に無料で公開している。また、この旧白石和太郎洋館の管理を一般から募集し、委託している。(旧白石和太郎洋館管理委託料 240 千円) まちなみ見学用駐車場及び公衆トイレ管理業務については、同じくこの旧白石和太郎洋館の管理者に委託している。この見学用駐車場と公衆トイレは、旧白石和太郎洋館を中核とした旧保内町のまちなみの見学者・来訪者専用にしたものである。(まちなみ見学用駐車場及び公衆便所管理業務委託料 240 千円)

④ 文化財説明看板設置

市指定文化財の説明版を計画的に修繕している。平成 26 年度は文化財説明板 1 基(磯崎港石波戸)の設置と 1 基(三島神社)の修繕をした。(案内説明板の設置・修繕 2 件 修繕料 76 千円 備品購入費 184 千円)

⑤ 文化財保護審議会の開催

旧八幡浜市、旧保内町から各 5 人ずつ合計 10 人の有識者による文化財保護審議委員を、これも各分野から専任し、文化財の保護、および新しい市文化財の指定、指定の解除等について議論をし、意見、助言をいただいている。

【学識経験者意見】

- 日土小学校はワールドモノメント財団から WMF ノールモダニズム賞受賞、また国の重要文化財に指定されており、県内外から多くの見学者が訪れていると聞く。建築家志望の学生や若者の見学も多く、松村建築の偉大さを感じることができる。見学会の開催、市内に残る松村建築の保存・活用を含めて、八幡浜市が誇る偉大な建築家松村氏の功績を今後も顕彰していただきたい。
- 旧保内町の繁栄、栄華の跡を残す旧白石和太郎邸は、保内町のシンボルでもある。より一層の PR に努め、見学者や利用者を増やし、保内町の町おこしの一環としての機能を果たしてほしい。
- ボランティアガイドの方々には、歴史建築物の見学者に熱心に案内していただいている。各種ボランティア団体が継続して活動できるよう今後も支援・育成をお願いしたい。

【自己評価】

- 日土小学校では、年 3 回の校舎見学会には県内外から多くの見学者が訪れている。また、建築家志望の学生や若者の見学も多く、松村建築を感じることができる貴重な機会となっている。今後は旧市民図書館、旧長谷小学校、旧川之内小学校など市内に残る松村建築の保存・活用を進め、八幡浜市が誇る偉大な建築家松村氏の功績を更に顕彰していきたい。

- 旧白石和太郎邸は、保内町のシンボルでもあり、地域住民が使用しながら、見学者や利用者を増やし、他の町並みを形成している建造物と併せて保内町の魅力を発信していきたい。
- 保内ボランティアガイド、八幡浜みてみんな会の方々には、歴史的建造物の案内を熱心にして頂いている。今後もボランティア団体が継続して活動できるよう支援・育成をしていきたい。